

2013年10月吉日

実践経営学会関西支部会員各位

## 『関西実践経営』第46号の原稿募集

『関西実践経営』第46号の原稿を募集します。『関西実践経営』は皆様方からの投稿で成り立っております。おかげさまで、現在まで年2回発行のペースを維持し、本誌に対する評価も年々高まりつつあります。特に、若手研究者の投稿を含め、より多くの皆様方の投稿をお待ちしております。ただし、本支部は財政基盤の関係から十分な予算がございませんので、投稿者に掲載費を実費（1頁当たり1,500円）でご負担して頂くこと、ご理解ご了承賜りたく存じます。

投稿原稿は、①論文（基準として10頁・12000字以上）、②研究ノート、③資料提供、④評論、⑤書評の5分野とします。応募の時に分野を明記して下さい。（無い場合や適切でない場合は、当編集委員会で決めさせていただきます。）

原稿は必ず、打ち出し完成原稿・印刷物（そのまま版下）としますので、次の書式を厳守して、できる限りPDFファイルでご送付いただきますようよろしくお願い申し上げます（なお、書式から大きく離れた原稿の受領はいたしかねます。ご了承ください）。

### [投稿書式規定要項]

- ①用紙の大きさはB5版とし、1頁36文字34行（ $36 \times 34 = 1224$ 文字）を基本とします。
- ②用紙の左右に約20mm、上下に約20mm程度の空白を空けてください。
- ③[原則として]次の文字の大きさ及び種類、書式（それに類似した大きさ）を守って下さい。
  - a. 論文の本文は、明朝体10.5ポイントを使用。
  - b. タイトルは2行（1行空白分）を使用し、ゴシック体、14ポイントを使用。
  - c. サブタイトルは2行（1行空白分）を使用し、明朝体、12ポイントを使用。
  - d. 執筆者名は2行（1行空白分）を使用し、所属・氏名のみ記名し、明朝体、12ポイントを使用（肩書等は最後の執筆者紹介欄で明記します）。
  - e. 節は2行（1行空白分）を使用し、ゴシック体、10.5ポイントを使用。
  - f. タイトル、執筆者名の次に必ず簡単な目次、200字程度の概要と3～5語のキーワードを付記（本文と区別するための文字変更や、囲み等の配慮は執筆者にお任せします）。
- ④ワープロなどによっては、この形式通りには作成できない場合もあるかも知れませんが、極力近づけてください。著しく逸脱する場合は、訂正をお願いすることになります。
- ⑤**必ず、英文タイトルと執筆者の英文名、所属と肩書・身分等のファイルを別に添付して下さい（ないものは受領いたしません）。**

⑥ [連絡・投稿先]

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

近畿大学経済学部 田中 敬一 宛

E-mail : tanaka@eco.kindai.ac.jp

TEL: (06)6721-2332

本号（第 46 号、平成 25 年 12 月発行予定）に投稿予定の方は、編集・出版の都合上、平成 25 年 11 月 2 日(土)までに、「氏名とテーマ、連絡方法」を必ず編集委員会世話役にお知らせください。連絡なしに、締め切り直前に原稿だけを送られますと、編集上で多くの混乱と連絡ミスが生じます。場合によっては受け付けることもできません。是非ご協力下さい。（もし、発行日等に変更が生じる場合には、執筆申し込み者にのみ連絡いたします。）

完成原稿は締切期限厳守で、**平成 25 年 11 月 16 日(土)必着**で上記連絡・投稿先（編集委員会宛）にご送付下さい。

できれば少し余裕を持って、締切以前に送って頂ければ幸いです。残念なことに、締切を守らない方が毎回います。毎号ギリギリのスケジュールで編集作業を進めますゆえ、提出締切期限オーバーの原稿を返却せざるを得ない場合もございます。くれぐれも投稿予定の連絡および投稿の期限を厳守願います。

なお、質問等につきましては、編集委員会（世話役）が受け付けます。皆様からの原稿を心からお待ち申し上げます。

以上

《P S》必要な方には、論文の抜刷り（30 部のみ、前回は実費 3,600 円）を作成致します。テーマ報告時又は原稿提出時にご連絡下さい。連絡を受けた方だけに作成します。

執筆者の多くが抜刷りを自己 PR 用に利用されていますし、業績として役立っています。

実践経営学会 関西支部支部長

『関西実践経営』編集委員会世話役 田中 敬一